

～都に鄙に、また山に～
郵便局を旅する地域活性マガジン

散歩人

SANPOJIN
5月号 vol.15

爽やかな自然
ゆとりの時間

北海道

わたしと手紙

白石 美帆さん

座右宝

森田 実さん

局長さんご推薦！

お取り寄せの逸品

全国産品プレゼント
(北海道)



contents

散歩人 | vol.15 | May 2012

〈特集〉

2 爽やかな自然 ゆとりの時間 北海道

海鳥の声、朝陽にそまる波がしら。
澄みわたる空、まっすぐに伸びる道。
真っ黒な森と湖、その向こうに冴える月。
スケール大きな自然を楽しみながら北海道を旅しました。

わたしと手紙

8 白石美帆さん

10 郵便局のあるまちをたずねて
北海道釧路町、網走市、滝川市

座右宝 より素敵に生きるために

15 森田 実さん

局長さんご推薦！

16 お取り寄せの逸品
全国産品プレゼント(北海道)

〈緊急特集〉

19 あしたの風にのせて

20 切手で訪ねるふるさとの旅

22 川柳「二匹目のどぜう」

24 読者のみなさんから／コラム「龍の鱗」

25 バンコク雑記帳／読者プレゼント



海鮮 松皮・ボタン
ン海老・蝦夷鮑・
ホッキ貝

直営農場の羊・鶏と、地場で採れた
食材を活かしたお食事は鮮烈かつ繊細

ところ／北海道檜山郡江差町宇姥神町1番地の5
電話／0139-52-2020
料金／40,000円(2名様利用時1名様料金。1泊2食お飲物料・
税・サ込み)
交通／JR江差駅から車で約5分



蝦夷鮑網焼



羊トマトソース煮



羊黒胡椒焼



紅ずわい蟹



棚田清オーナー(写真)が25年前から始めた農場「拓美ファーム」で。綿羊(サフォーク種)、北海地鶏、比内鶏を飼育。無農薬・有機野菜や山菜を栽培。工夫して配合された飼料により柔らかく上品な旨みの羊肉や鶏肉、産み立ての新鮮な卵が「江差旅庭 群来」の食事で提供される。ちなみに屋号は、魚が群れをなしてくることを「群来(くき)」と呼んだことから

ニシンを積み、諸国の文物を運んだ北前船をモチーフにした建屋のデザイン(中山眞琴氏。石の庭は海、中心にある彫刻家、安田侃氏作のオブジェを島に見立てて)



江差旅庭 群来

ゆったりとした異界へといざなう

「江差の五月は江戸にもない」
——江戸時代ニシン漁によつて栄えた江差。北海道の西南端、日本海に面した港町には、66度の天然温泉がこんこんとわき、スタイリッシュなデザインで統一された隠れ家的な宿がひっそりとたたずんでいます。



全7室。床暖房を含め、館内の暖房は温泉熱を利用。環境にも配慮したつくりになっている



異界への迷路のようなエントランス



かんなを用いたデザインのルームプレート



旭川

「動物にストレスを感じさせることなく、元気にふるまわせたい。動物のありのままを見ていただくことで、自然や命の素晴らしさにふれてもらえるような動物園でありたい」と坂東元・園長

元気でいきいきとした
動物たちに出会う 旭山動物園

旭山動物園では、動物の習性に配慮した飼育環境を整え、可能な限り野生に近い状態を見せる「行動展示」を考案。伸び伸びと動く動物たちの姿が多くの人々の共感を呼んでいます。
来園者から「動物園オリ

ジナル切手を」という要望を受け、上川地区で昨年同園の動物たちのフレーム切手2種を売り出し、ほぼ完売。奔走した葛西局長は「第2弾のプランを進行中」と声を弾ませ、山形会長も「地道に地域貢献につなげたい」と語る。



ほっきょくぐま館で。エサを食べる「もぐもぐタイム」では臨場感たっぷり、愛嬌の感じられる姿が見られる



案内人 東旭川郵便局・葛西二夫局長

案内人 上川地区郵便局長会・山形裕会長

あざらし館で。円柱水槽を泳ぐアザラシとは触れあえるような距離感

旭川市旭山動物園
ところ 北海道旭川市東旭川町倉沼11番地
の18
電話 / 0166-36-1104
営業期間 /
夏期 4月28日～11月30日
9:30～17:15(お盆期間は21:00)
入園は16:15まで
冬期 11月18日～平成25年4月7日
10:30～15:30(年末年始休)
入園は15:00まで
入園料 / 大人800円、中学生以下無料
交通 / JR旭川駅から車で約30分



オランウータン舎で。悠々たる姿に目が離せない

写真提供：旭川市旭山動物園

10年近く前から夏期開園時に設営する「臨時出張郵便局」。園内からポストカードを出したかったという方々に好評。昨年には園の許可を受け、園内売店前にポストも設置した



五稜郭

幕末開国の要求に屈した明治政府が、蝦夷地の政治・外交・防衛の拠点として築かせたのが五稜郭。ヨーロッパの城郭都市をモデルとした。大正3年(1914)公園として開放され、市民の憩いの空間に。道南指折りの桜の名所でもある
写真提供：五稜郭タワー

函館

開国以来の異国情緒が残る港町

案内人

渡島地区郵便局長会・中村高彦会長



五稜郭タワー展望台にある土方歳三像の前で中村会長がポーズ。「土方の潔い生き方に魅かれる」という



「金森赤レンガ倉庫」。明治末に建てられた倉庫群をシヨップ・レス・トランが集う複合的施設として再生

函館を案内いただくのは中村会長。「景観、食べ物どれをとっても素晴らしい。北海道の良さを凝縮したような土地だと思う」。函館のまちづくり協議会にも積極的に参加。数年後の北海道新幹線開業をにらみ「玄関口となる駅舎に郵便局を構えて、地域貢献を」と意気込みます。
「知っています?」「おいあくま」って。おこるな、いばるな、あせるな、くさるな、まけるな。私の人生訓です」。

八幡坂

坂の街・函館を代表する坂。函館港へまっすぐに見通せ、ロケ地としても有名。停泊しているのがかつての青函連絡船摩周丸



カヌーのバドルが描く水紋が音もなく湖面に広がる



夕食は道東産の食材にこだわったシェフ心づくしのフレンチ。手前から「つぶつ産和牛ヒレ肉のロースト」「サロマ産ホタテ貝とホッキ貝のソテー」「津別産グリーンアスパラのポタージュ」「根室産青ソイのカルパッチョ」



チミケツプ ホテル

大自然と優雅にたわむれる至福の時間



木のぬくもりを生かした内装

ところ/北海道網走郡津別町字沼沢204
電話/0152-77-2121
料金/ツイン27,300円(6/21-10/20)、18,900円(10/21-6/20)。いずれも2名様利用
時1名様料金、1泊2食・税込み
交通/JR北見駅から車で約35分



刻々変わる夕景にためいきの連続

1万年以上前から静かに水をたたえるチミケツプ湖。湖畔にある唯一のホテル「チミケツプホテル」には爽やかな風のおかげで、クマゲラやヤマゲラなど野鳥のさえずりが聞こえ、シマリスが可愛い姿を見せにきます。
緑が鮮やかさを増す春から、燃えるような紅葉が湖面に映える秋にかけて、鱒なビルアーフィッシングやカヌー、乗馬やサイクリング、そして緑陰の読書など、思い思いの贅沢な時間が過ごせます。湖面が凍てつく真つ白な冬にはワカサギ釣りも楽しめます。
テレビもなく、ケータイも通じない部屋から「崖を破って水の流れるところ」という意味を持つ湖をほんやりと眺める——夜明けから真夜中にいたるまで、その興趣は尽きません。